



陸上自衛隊 中央即応集団創設8周年

Central Readiness Force 世界の平和と日本の安全のために邁進します。



新ロゴマーク

中央即応集団は創設7周年の時期に併せて、集団を構成する各部隊のシンボルを統一し、新たなロゴマークを作成しました。

① 「サイレンの意義」
 1 武力攻撃事態対処法等、国際平和協力活動及び災害派遣を意味する3本の白線
 2 全体を地球に見立て国際的な活動を表現
 3 引き続き活用します。

新しいロゴは、主としてフリーティング等のデータや紙媒体にて活用します。

部隊等説明

中央即応集団司令部

海外に派遣された部隊を一元的に指揮

中央即応集団司令部付隊
司令部の管理・業務支援、通信支援を行なう

第1空挺団

落下傘降下により各種の空挺作戦を遂行する部隊

第1ヘリコプター団

陸上自衛隊最大のヘリ部隊、要人空輸も行う

中央即応連隊

国際平和協力活動の先遣部隊等として行動する部隊

中央特殊武器防護隊

核・放射線・化学物質・生物剤により汚染された地域を偵察し除染する部隊

対特殊武器衛生隊

特殊武器による患者の応急治療、検査を実施する部隊

国際活動教育隊

国際活動に従事する上で必要な様々な教育等をする部隊

特殊作戦群

ゲリラや特殊部隊の攻撃に対処する部隊

中央即応集団は3月28日、創隊から8周年を迎えました。これからも「所命必遂」の信念をもって、いついかなる任務が与えられようとも、機動運用部隊や各種専門部隊を運用し「魅」の誇りを持ち世界の平和と日本国民の安全のために邁進していきます。

CRFの歩み

- 19年3月28日 CRF編成完了。初代司令官・山口淳秀 陸将着任
- 3月30日 国連ネパール政治ミッション(2011年1月)
- 3月31日 朝霞駐屯地において発足式典挙行
- 7月17日 新潟県中越沖地震災害派遣
- 8月24日 ゴン高原派遣輸送隊 24次隊
- 9月12日 インドネシアスマトラ南部地域地震対応
- 10月29日 中央即応集団演習
- 20年2月4日 自衛隊総合演習(指揮所演習)
- 2月17日 ゴン高原派遣輸送隊(25次隊)
- 3月17日 中央即応連隊(新編)
- 3月26日 中央即応連隊(新編)
- 3月26日 対特殊武器衛生隊(新編)
- 3月26日 第1ヘリコプター団(改編)
- 6月14日 岩手・宮城内陸地震対応
- 7月6日 洞爺湖サミット支援
- 8月1日 第2代司令官・柴田幹雄 陸将着任
- 8月21日 ゴン高原派遣輸送隊 26次隊
- 8月23日 国連スーダンミッション司令部要員派遣(2011年9月)
- 5月16日 派遣海対処行動航空隊陸自要員派遣
- 7月21日 中央即応集団 演習指揮所訓練
- 10月5日 ゴン高原派遣輸送隊 28次隊
- 11月5日 インドネシア国際緊急医療支援隊派遣
- 12月5日 自衛隊総合演習参加(実動)
- 22年1月7日 第3代司令官・宮島俊信 陸将着任
- 1月21日 ハイチ国際緊急援助隊派遣(2013年2月)
- 2月4日 国連ハイチ司令部要員派遣
- 2月6日 国連ハイチ派遣国際救援隊派遣
- 2月17日 ゴン高原派遣輸送隊(29次隊)
- 8月18日 ゴン高原派遣輸送隊(30次隊)
- 8月31日 パキスタン国際緊急航空援助隊派遣(2010年10月)
- 9月27日 国連東チモール総合ミッション派遣
- 11月9日 APCE会議支援
- 23年2月17日 ゴン高原派遣輸送隊(31次隊)
- 3月11日 東日本大震災に伴う災害派遣・原子力災害派遣
- 8月5日 第4代司令官・藤崎 陸将着任
- 8月20日 ゴン高原派遣輸送隊 32次隊
- 11月28日 国連南スーダンミッション司令部要員派遣
- 24年1月31日 第5代司令官・山本 洋 陸将着任
- 2月18日 ゴン高原派遣輸送隊(33次隊)(2013年1月)
- 2月19日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第1次要員)
- 6月24日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第2次要員)
- 7月26日 第6代司令官・日高政広 陸将着任
- 12月3日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第3次要員)
- 25年1月20日 ゴン高原派遣輸送隊 隊旗返還式
- 1月15日 ハイチ国際救援隊派遣 隊旗返還式
- 3月26日 司令部・司令部付隊が朝霞駐屯地から座間駐屯地へ移駐
- 5月18日 中央即応集団創設6周年記念行事
- 6月16日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第4次要員)
- 9月6日 CRF部隊表彰
- 10月23日 中央即応集団演習(国際)
- 10月31日 中央即応集団演習(国内)
- 11月13日 フリレン国際緊急援助隊派遣
- 11月30日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第5次要員)
- 座間移駐1周年記念行事
- 26年3月26日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第6次要員)
- 5月30日 中央即応集団創設7周年記念行事
- 8月5日 第7代司令官・川又 弘道 陸将着任
- 9月8日 中央即応集団演習(国際)
- 10月10日 派遣海対処行動支援隊第2次要員派遣
- 12月28日 中央即応集団演習(国内)
- 12月4日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第7次要員)
- 27年2月9日 派遣海対処行動支援隊第3次要員派遣
- 3月3日 国際平和協力活動民軍連携研究会
- 4月29日 ネパール国際緊急援助隊派遣
- 5月22日 国連南スーダンミッション主力要員派遣(第8次要員)

IPCMICS

「国際平和協力活動民軍連携研究会」

3月3日、中央即応集団司令部において第2回国際平和協力活動民軍連携研究会が開催された。

今回は国連・国際機関、政府機関、研究機関、NGO等27団体から約50名が参加し、国際緊急援助活動における民軍連携をテーマに、基調講演やロールプレイによる調整会議等が行われた。

本研究会では、国際緊急援助活動における民軍連携のあり方、民軍間の活動調整要領について参加者から活発な意見交換がなされ、じ後の国際隊の活動や訓練の資を得ることができた。



第1空挺団

中央特殊武器防護隊



第1ヘリコプター団

対特殊武器衛生隊

中央特殊武器防護隊



第1ヘリコプター団

対特殊武器衛生隊



国際活動教育隊

中央即応連隊

国際活動教育隊

ネパールにおける国際緊急援助活動

平成27年4月25日にネパール連邦民主共和国でM7.8の地震が発生。防衛省は4月26日に被害状況の調査や支援のニーズについて情報収集を行うため調査チームを派遣した。翌27日には国際緊急援助活動の実施に関する自衛隊行動命令発出。28日に国際緊急援助医療援助隊の派遣が決定。29日未明には先遣隊が、5月1日未明には部隊主力がそれぞれネパールに向け出国。5月19日に終結に関する行動命令が発出されるまで、被災国のニーズを酌み、患者の目線で医療活動等を行った。中央即応集団固有の隊員は司令部民生協力課長 持田2佐を始め約20名が医療援助隊本部・本部付隊の要員として派遣された。



ナラニティ・ミュージアムでの医療活動

バクタプルでの医療活動



ラナ・パークでの医療活動

多国籍調整所



チューチェバティでの医療活動

バクタプルでの医療活動



チューチェバティでの現地住民とのふれあい

チューチェバティでの現地住民とのふれあい

PKO及び国緊隊派遣



UNMISS(国際連合南スーダン派遣団)



DGPE(派遣海対処行動支援隊)



中谷防衛大臣のジブチ初視察

警戒中の警備小隊

警戒中の警備小隊